

平成 29 年 8 月 1 日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋 2 丁目 7 番 1 号



太陽生命 投資を通じて社会を元気に ～「日本健康社会応援ファンド」への投資～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田中勝英）は、ESG投資の一環として、「日本健康社会応援ファンド」への投資を実施しましたのでお知らせいたします。

本年 6 月に日本政府が「第 10 回未来投資会議」にて閣議決定した「未来投資戦略 2017」においても、国の抱える課題として「健康寿命の延伸」が挙げられています。

この度当社は、国民が長期的に健康的な生活を営める社会（以下、「健康社会」という。）の維持・発展に寄与する企業を応援する「日本健康社会応援ファンド」に対し、30 億円の投資を実施いたしました。

本ファンドは、ビッグデータ解析、AI・ロボット等の技術革新を活用するなど「健康社会」の維持・発展に取り組む国内上場企業株式を対象として組成されるものです。

当社は、平成 19 年 3 月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」^(※)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。また、「健康寿命の延伸」という社会的課題にこたえることを目的に、昨年 6 月より「太陽の元気プロジェクト」を開始し、「従業員」「お客様」「社会」を元気にする取り組みを推進しています。資産運用面では、同年 12 月に、人々の健康増進に寄与する事業を応援する「元気健康応援ファンド」に投資を実施しました。

太陽生命は、これからも、社会を元気にする様々な取り組みを推進してまいります。

以 上

(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、平成 17 年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。



認知症治療保険 働けなくなったときの保険

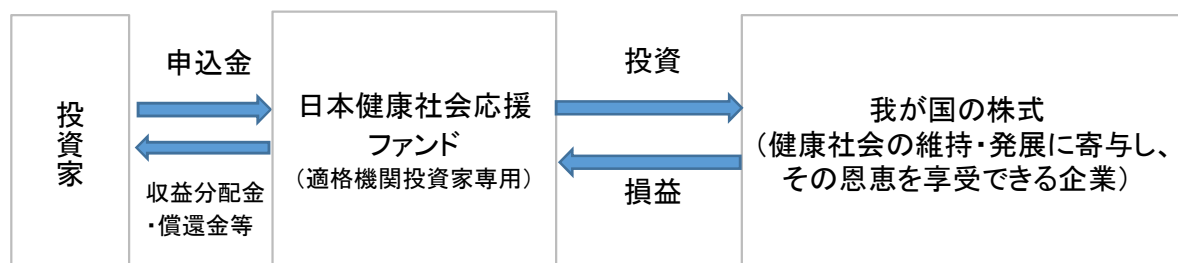


「日本健康社会応援ファンド」の概要

1. 運用の概要

ファンド名	日本健康社会応援ファンド(適格機関投資家専用)
設定日	平成29年7月21日
当初設定予定額	1,000億円(上限)
投資対象	日本国内の金融商品取引所上場株式(上場予定を含む)
運用方針	<p>1. 国民が長期的に健康的な生活を営める社会(以下、「健康社会」という。)の維持・発展に寄与し、その恩恵を享受できる企業に投資。</p> <p>2. 「健康社会」に関連した以下のような企業を投資候補銘柄とする。 なお、投資候補銘柄の選定にあたっては、高齢化や労働人口の減少にも着目する。</p> <p>①国民の健康維持・増進に貢献している企業</p> <p>②従業員の活力向上や効率的な労働環境の整備に取り組んでいる企業</p> <p>③社会システム全般の自動化・効率化により生産性の向上を推進している企業</p> <p>④快適な社会インフラや娯楽サービスの提供等を行っている企業</p>
設定・運用	大和証券投資信託委託株式会社

2. 本ファンドのスキーム概要



以上